地域密着型サービス運営推進会議

令和6年度第5回報告書

日　時：　令和7年1月２9日（水）14時

施設形態：グループホーム

会　場：　たくひの里　ホール

参加者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者代表 | 0人 | 地域代表 | 1人 |
| 利用者家族 | 0人 | 高齢者安心支援センター | 1人 |
| ボランティア代表 | 1人 | 市職員 | 1人 |
| 管理者 | 1人 | その他（職員） | 1人 |

１、ご利用者の様子

＜要介護度＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護１ | 　要介護2 | 要介護３ | 　要介護４ | 　要介護5 |
| 　　４名 | 　　４名 | 　　４名 | 　　４名 | 　　2名 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＊男性1名、女性17名　平均年齢9０.4歳

２、日常の様子

別紙（たくひ通信）写真資料参照

3、感染対策

　インフル・コロナ予防対策周知

4、研修報告

　　**・職場会議**

**1ユニット1月18日　個別ケアについて**

**1ユニット1月19日.　浴室改造工事について**

**1月27～30　日認知症介護基礎研修**

5、運営指導について

　　　1月14日（火）9時30分～11時30分

　　　市役所高齢者福祉課　木幡主任　鎌田主事

6、外部評価について

　　　自己評価についての検証

　　〇31　排泄の自立支援

　　　　　十分に出来ているがコントロールが難しい。

〇32　入浴を楽しむことができる支援

　　　　　入浴の状況は、シャワーだけの人、湯船につかりたい人、また寒いと嫌われる人

〇33　安眠や休息の支援

　　　　　眠剤を希望される人、されない人等

　　　　　夜勤は１.ユニット一人

〇34　服薬支援

　　　　　薬の増減は家族との情報共有し個人一人ひとり管理している

〇35　役割、楽しむことの支援

　　　　　塗り絵、縫物、カラオケ等それぞれの趣味があり大変良い

〇36　日常的な外出支援

　　　　　インフルエンザ、コロナ感染で外出はできないが仕方ない

〇37　お金の所持や使うことの支援

　　　ダガネという施設内通貨で服や日用品、おやつの買い物。

　　　月一回のパン販売で買い物。自分でお金を使うことは良い。

　Q38　電話や手紙の支援

　　　　　電話、ハガキの取次ぎと面会は玄関ホールや居室。

Q39　居心地の良い共用空間づくり

　　　　　来所のたびに壁面飾りが変わっている。居心地のがいい。利用者の方と楽しみながら作ってる事がいい。

　Q40　本人主体の暮らし

　　　　言葉で伝えにくい方には、表情や態度の様子を見て対応している。

　　外部評価

排泄の自立支援　　　紙パンツ利用の方も使用金額が多額になる一方布パンツ利用者も複数

　　　　　　　　　　自立維持。便秘予防改善に乳製品、体操、散歩等の対策が有効

服薬支援　　　　　　薬の増減の情報共有が医療介護家族との情報共有ができている

共用空間づくり　　　建物内部バリアフリーで自立支援、季節感のある壁面装飾の居住空間